



岐阜市立女子短期大学の現状



2000年キャンパス移転当時の写真

出典：清水スタジオ寄贈写真から

創立1946年 卒業生17,647名



目次

○ 紹介

1. 沿革
2. 概要
3. 学科
4. 最近の取組み

○ データ

1. 学生の志望理由
2. 志願者数、入学者数
3. 就職、進学等
4. 財務



沿革

1946年 岐阜女子専門学校としてスタート

(英文科・生活科・被服科)

1949年 岐阜専門学校に改称

1950年 岐阜短期大学 設置
生活科と被服科を家政科に統合

1954年 岐阜女子短期大学に改称

1955年 家政科を改組して生活科と被服科に変更

1969年 英文科を英文学科、生活科を**食物栄養学科**、被服科を被服学科に変更

1988年 岐阜市立女子短期大学に改称

2000年 キャンパス移転、1学科を新設・名称変更

国際文化学科を新設、
英文学科を**英語英文学科**、被服学科を**生活デザイン学科**に変更

2023年 3学科に名称変更

国際コミュニケーション学科、健康栄養学科、デザイン環境学科



概要① 【規模】

住所：岐阜市一日市場北町7番1号 23,077m² R5.5.1現在

学生数：374名（1年生170 2年生204）※定員430名（1年生200、2年生230）

教員数：35名（学長1 教授9 准教授10 講師10 助教1 助手4）

職員数：22名（一般職11 会計年度任用職11）

学科数：3学科

学費：入学料 市内生169,200円、市外生302,100円
授業料 年額 390,000円

設備・施設等：

- ・講義棟1 実習棟1 研究棟1 運動場2 体育館1
- ・附属図書館1 学生ホール1

交通アクセス：JR岐阜駅からバス、タクシーで約20分



概要② 【教育目標】

教育目標

社会において、一人ひとりが、生きたいと思う人生を描き、実現するために、

- ・ 多様な価値観を許容する力
- ・ 自分、身近な人、地域にとって何が必要かを考え、新たな価値を見出す力
- ・ 共感と協調に基づく人間力を涵養する教育を行う。

設置学科と専門領域

国際コミュニケーション学科

【現代社会領域】 【文化交流領域】 【英語領域】 【東アジア言語領域】

健康栄養学科

【医療・福祉領域】 【食環境領域】

デザイン環境学科

【ファッション領域】 【建築・インテリア領域】 【ヴィジュアル・情報領域】



概要③ 【短・中期方針】

R2(2020).12 岐阜市立女子短期大学ビジョン 【岐女短発 10年後に向けた提言】を策定

公立大学として、教育ニーズや存立意義を確かめ、経営感覚を持つため、現在の本学の状況を把握し、70年以上の歴史に頼ることなく、本学の運営を再点検し、新たな本学の方向性を学内組織でまとめたもの。

6-(1) 短期・中期的方針（抜粋）

・教育内容

→家計に余裕のない多子世帯やひとり親世帯にも間口が広く、教育目標に向けて女子短大を継続、学科編成を見直し、学内ガバナンス強化と女子教育に強いブランド化

6-(3) 新たな教育体制（要約）

将来に向けた**教育キーワード「グローバル、ヘルス、センス」**は現在の各学科の教育から外れていない。

→国際・地域の重視、食から健康への展開、AI時代の人間性を高める体系に向けて学科の再構築や、長期的な方向性をまとめる。

概要④ 【学科変更】

〈短期・中期的な方向性のイメージ〉（要約）

① グローバルコミュニケーションをイメージする学科

- ・ グローバルコミュニケーション学科（仮称）の設置
→ 英語英文学科と国際文化学科を統合し、グローバルと地域コミュニケーション、地域文化と観光学

② 人生100年時代を、食による健康や医療等との連携からイメージする学科

- ・ 栄養健康学科（仮称）の設置
→ 栄養士養成に加え、年少・労働・老年の各世代の食からの健康づくり

③ AI時代の人間性・ヒューマンスキルを磨くことをイメージする学科

- ・ デザイン環境学科（仮称）の設置
→ 個々の五感から人間力、判断力を様々なモノに発揮するための課程

R4(2022).6議会承認・文科省届出

令和5年度から学科を改編し、下記の学科でスタート

国際コミュニケーション学科、**健康栄養**学科、**デザイン環境**学科

概要⑤ 【3つのポリシー】

ディプロマ・ポリシー（短期大学士の授与）

教育目標に定める人材を育成するため、自らが作成したポートフォリオに沿って、所定の単位数を修得するとともに、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能、および教養を深め、次の能力（チカラ）や態度・意欲を身につけた学生に学位を授与します。

○多様な価値観を許容するチカラ

多文化共生社会を担うため、他者への理解と許容力を有している。

○新たな価値を見出すチカラ

専門分野で得た知識・技能を社会で活用するため、新たな価値を見出す想像力と思考力、実践力を有している。

○共感と協調により繋がるチカラ

社会や地域に貢献するため、コミュニケーション能力とともに主体性と協調性を有している。

概要⑤ 【3つのポリシー】

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施）

学位授与の方針を達成するため、1年次前期は学科全体を俯瞰できる教育を行い、1年次後期から専門領域に特化した教育へ移行します。また、以下の方針に基づいて教養教育と専門教育の課程を編成・実施します。

○教養教育

専門教育の知識や技能を社会へ繋げるため、岐阜学をはじめとする実践的な地域活動を通し、創造力や思考力を養います。また、現代教養として必要な情報分野の知識・スキルや自国文化の知識、コミュニケーション能力などを高められるようにカリキュラムを編成・実施します。

○専門教育

専門教育での体系的学習と、分野を超えた横断的な学習ができるカリキュラムにより、学びにおける学生の主体性を高めるとともに、多様な価値観と出会い、互いに認め合う能力を育める教育プログラムを構築します。また、教養教育で育んだ能力を専門分野の実践的な活動に生かし、学位授与の方針に掲げる3つのチカラを身につけることができるよう教育します。



概要⑤ 【3つのポリシー】

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れ）

「戦後日本の発展は女子教育から」の理念のもとに、1946年中部地方最初の公立女子専門学校として設立されました。以来、幾多の改組改編を経て現在の岐阜市立女子短期大学になりました。

教育目標や学位授与の方針、また各学科での教育内容について理解し、それらの達成に必要な基礎学力や応用する思考力、主体的に学ぶ姿勢を持つ学生を求めます。

そのため適正かつ多様な入試を実施し、本学で教育を受けるのにふさわしい学生の能力・適性等を多面的かつ公正に評価し、入学者の選抜を行います。

学科① 【国際コミュニケーション】

【領域】 現代社会、文化交流、英語、東アジア言語

教育目標

グローバルな視点を養いつつ、地域社会に根差した実践教育を通じ、さまざまな文化的背景を持つ人々と円滑にコミュニケーションを取りながら協働して地域の魅力を高め、よりよい地域・社会をつくっていく際に中心的な役割を果たすことのできる人材の養成

【特色】

- ・ 4つの領域から、地域社会に根ざした多様な学びを選べる
- ・ ネイティブスピーカー教員による外国語授業で、コミュニケーション力UP！
- ・ 日本国内の多文化共生にも目を向け、自ら課題を見つけ解決する力を磨く

資格取得

TOEIC、実用英語技能検定
中国語検定、HSK（漢語水平考試）
韓国語検定、TOPIC（韓国語能力試験）
情報処理検定 など



学科② 【健康栄養】

【領域】 医療・福祉、食環境

教育目標

少子・超高齢社会の現代における諸問題の解決に必要な知識とスキルを身につけ、地域の食環境を生かした食の力で、地域住民の健康寿命の延伸、生活の質（QOL）の向上に寄与し、幸せな健康長寿社会の実現に貢献できる栄養士の養成

【特徴】

- ・ 卒業と同時に栄養士資格取得可能
- ・ 食を通じて健康づくりに貢献できる人材を養成
- ・ 地域との交流からの多彩な学びを提供

資格取得

栄養士
管理栄養士 受験資格
情報処理検定 など



学科③ 【デザイン環境】

【領域】ファッション、建築・インテリア、ヴィジュアル・情報

教育目標

持続可能な社会の実現のため「自然環境との共生」「素材から取り組む本物志向」「人々を動かす力の向上」を軸に、デザインの思想や意義と地域産業への理解を深め、共感と協調に基づいて社会生活における諸課題を解決する能力を身につけた人材の養成

【特色】

- ・ 持続可能な社会の実現のため共感と協調に基づいたデザインを実践
- ・ 領域共通のデザインの基礎を学び、3領域を選択するカリキュラム
- ・ 2級衣料管理士や、一級／二級建築士(受験資格)の資格を取得可能

資格取得

2級衣料管理士（ファッション領域）
一級／二級建築士 受験資格（建築・インテリア）
マルチメディア検定（ヴィジュアル・情報領域）
色彩能力検定 など



最近の取組み① 【地域学】

◆ 「岐阜学プログラム」の導入 R5(2023)から全学必須へ

岐阜という地域をフィールドに専門科目を学びます。地域の現状と課題を学ぶ「岐阜学入門」を基礎に、各領域で学修した専門科目の知識や技術を、地域をフィールドに実践します。

◎ 岐阜学プログラム

岐阜をフィールドにして、価値の発見・発信、課題の発見・解決を実践し、地域の発展のために能動的に行動できる人材を育成する。

■ 段階的深化のプロセス

岐阜学入門

1年前期

入門（岐阜を掴む）

- ・フィールドとなる岐阜について、基礎知識を得る
- ・デザイン思考を机上で実践的にトレーニング
- ・学科の学びと岐阜のつながりを常に意識できるよう構成

岐阜学科目

1年前期～2年後期

発見（課題, 価値）

- ・学科毎に岐阜など地域をフィールドにした学びに関連する科目を履修
- ・一部は、学科を超えて履修可
→多様な学びの形

地域実践演習

2年前期～後期

アクション
（調査, 解決）

- ・岐阜における「課題発見→解決」「価値発見→発信・価値の付与」を実践
- ・地域における課題解決力を実践で学ぶ

最近の取組み② 【DS】

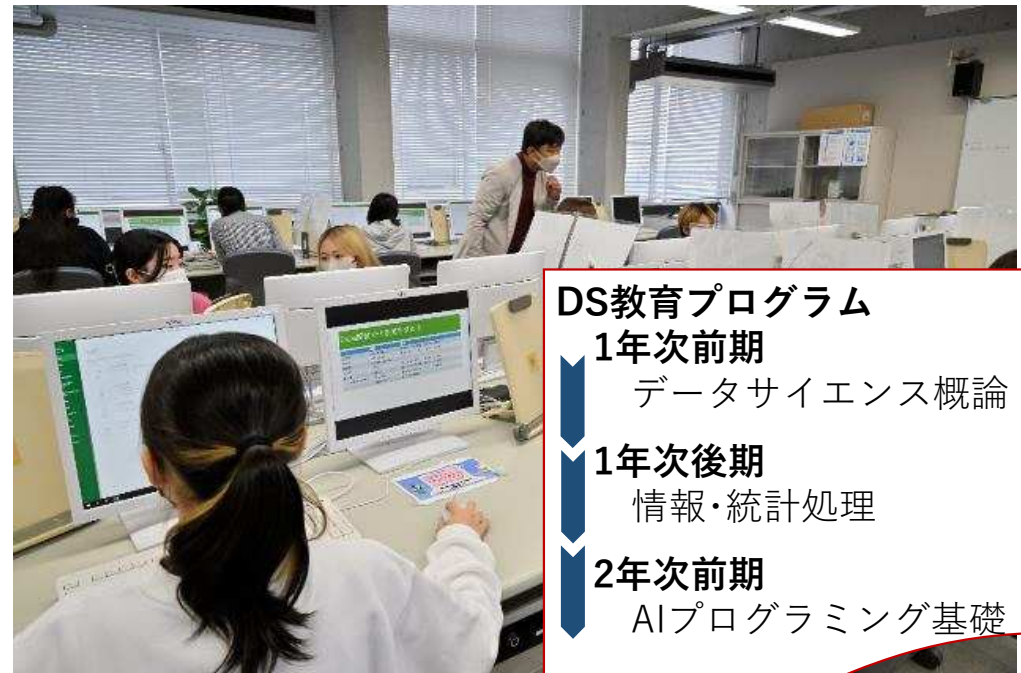
◆DS（データサイエンス）教育の推進

R5(2023)から全学必須へ

今後、AIを使った情報収集やデータ分析がより一般的になります。学科の特性に合わせた「DS（データサイエンス）の考え方や方法」を学ぶことで、今必要とされるスキルを身につけます。

そして、自分が持つ強みや感性を組み合わせることで、新しいアイデアやサービスを生み出す素地を養います。

数理・データサイエンス・AI教育プログラム
認定(MDASH-Literacy)申請中



DS教育プログラム

1年次前期

データサイエンス概論

1年次後期

情報・統計処理

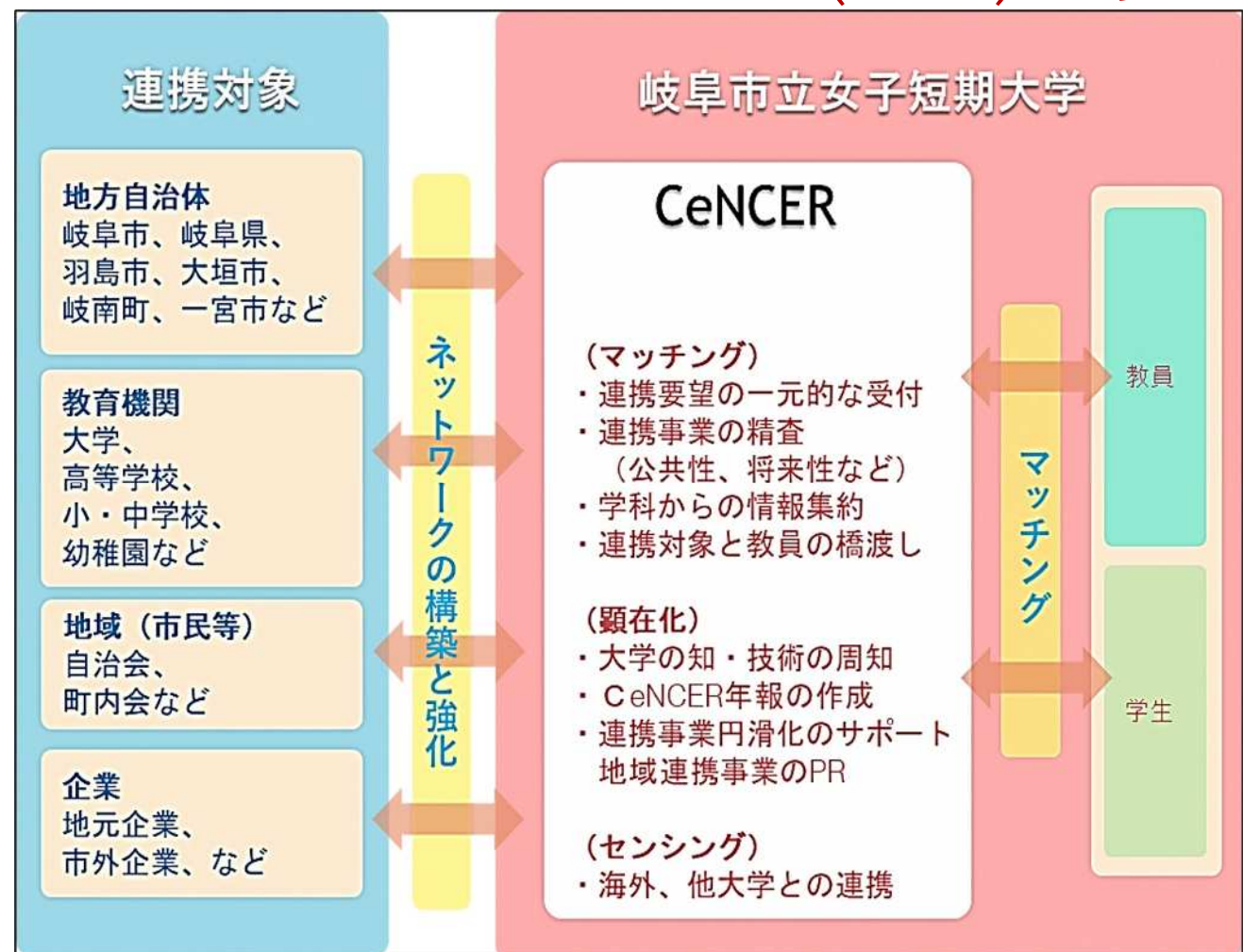
2年次前期

AIプログラミング基礎

最近の取組み③ 【地域連携】

◆地域連携センター 通称：CeNCER（センサー）の開設 R4(2022)から

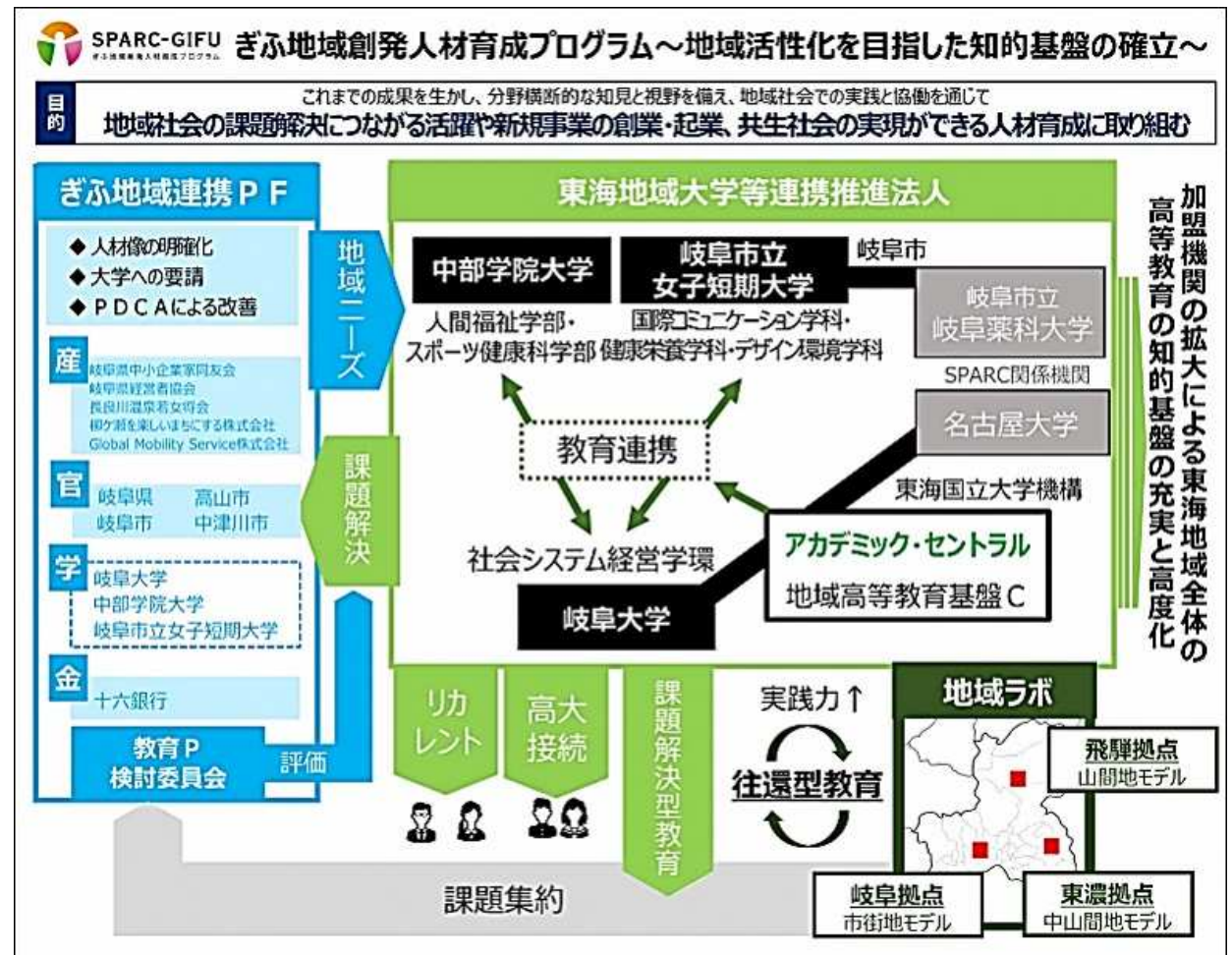
人材育成による地域貢献をしてきたが、これに加えて、CeNCERでは、持続可能な地域社会を目指して、地域の課題の発見・解決に向け、地域と協働して組織的な活動を行い、地域に根ざした大学としての性格を強めるための活動を行います。



最近の取組み④ 【大学連携】

◆岐阜大学等との連携 (ぎふ地域創発人材育成プログラム) R4(2022)採択

岐阜大学、中部学院大学や関係機関と連携して、地域社会の課題解決につながる活躍や新規事業の創業・起業、地域社会での共生ができる人材育成を通じて、地域社会の発展への貢献に取り組んでいきます。





最近の取組み⑤ 【入試改革】

R4(2022) 総合型選抜の**日程と定員増**

オープンキャンパスの日程増

試験問題チェック体制の強化

R5(2023) 学校推薦型選抜に**指定校枠**を追加

R6(2024) 学校推薦型選抜に**専門高校枠**を追加



学生の入学理由

「公立だから」1位→2位、「学びたい課程がある」2位→1位

入学者アンケートから 複数回答可 単位：%

アンケート項目	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
資格が取得できるから	14.2	15.2	16.0	15.9	17.5
学びたい課程があるから	21.3	21.9	22.7	23.3	24.2
進学編入ができるから	13.2	12.8	13.1	13.6	14.1
就職に有利だから	7.2	6.3	6.9	5.4	3.9
公立だから	25.9	26.5	23.8	22.8	22.5

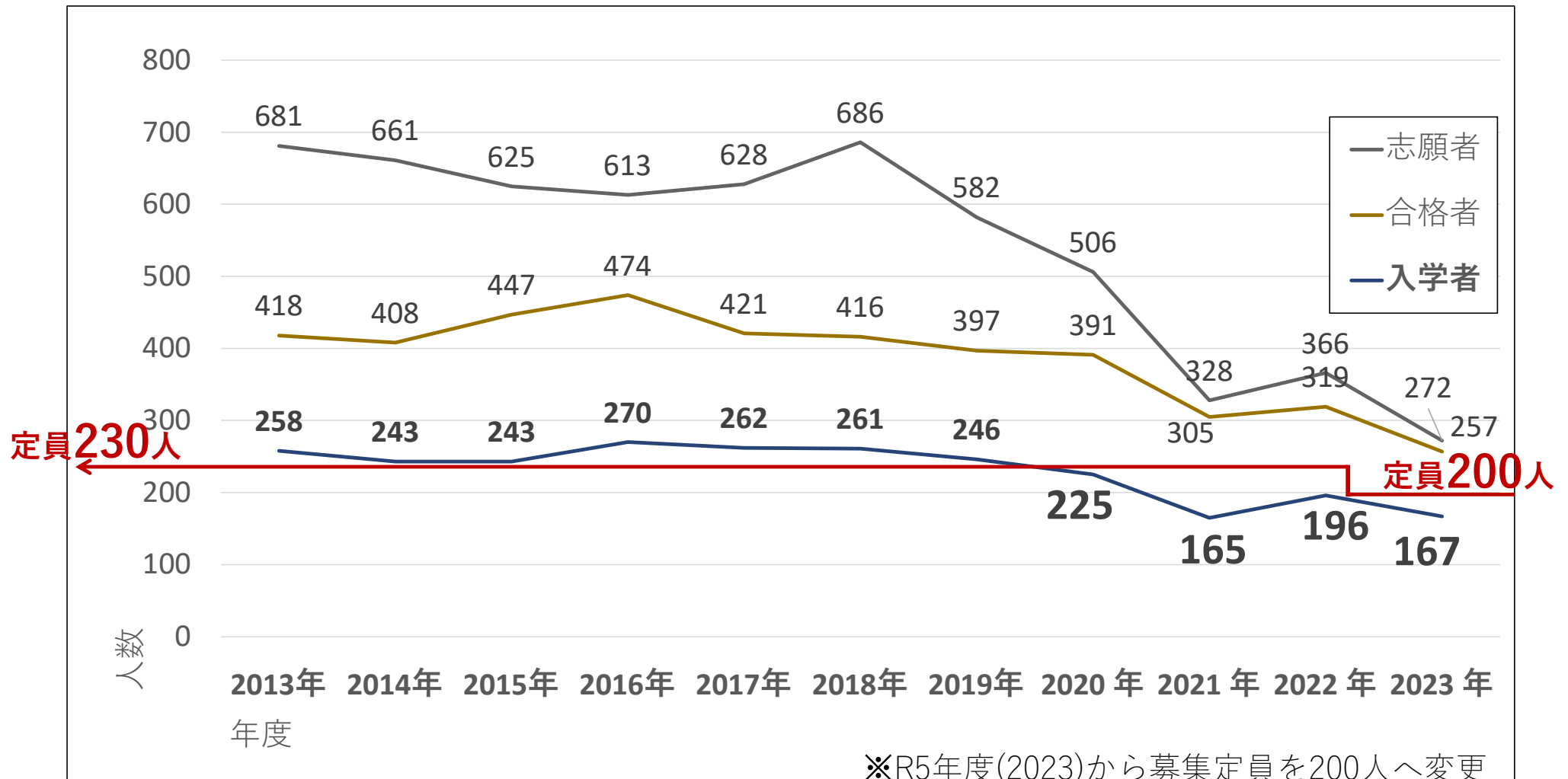


志願者数、合格者数、入学者数【表】

学科	項目	2013年 H25	2014年 H26	2015年 H27	2016年 H28	2017年 H29	2018年 H30	2019年 R1 (H31)	2020年 R2	2021年 R3	2022年 R4	学科	項目	2023年 R5
英語英文 定員50人	志願者	109	109	140	148	156	140	136	122	83	66	(募集停止)		
	合格者	94	98	111	118	115	99	87	100	76	57			
	入学者	53	50	57	63	64	66	50	50	37	26			
国際文化 定員60人	志願者	156	174	118	148	151	200	171	157	89	78	国際コミュニ ケーション 定員90人	志願者	112
	合格者	132	108	114	138	129	120	114	110	81	76		合格者	107
	入学者	75	65	58	69	74	73	68	60	43	44		入学者	64
食物栄養 定員60人	志願者	222	186	218	181	147	165	120	104	74	92	健康栄養 定員50人	志願者	80
	合格者	93	109	126	113	90	91	95	95	69	87		合格者	74
	入学者	62	64	62	76	62	60	60	54	40	58		入学者	44
生活デザイン 定員60人	志願者	194	192	149	136	174	181	155	123	82	130	デザイン環境 定員60人	志願者	80
	合格者	99	93	96	105	87	106	101	86	79	99		合格者	76
	入学者	68	64	66	62	62	62	68	61	45	68		入学者	59
1学年定員 230人	志願者	681	661	625	613	628	686	582	506	328	366	1学年定員 200人	志願者	272
	合格者	418	408	447	474	421	416	397	391	305	319		合格者	257
合計	入学者	258	243	243	270	262	261	246	225	165	196	合計	入学者	167

志願者数、合格者数、入学者数【グラフ】

R1(2019)から志願者が大きく減少、R2(2020)から定員未充足





入学試験実施状況【国際コミュニケーション】

(旧英語英文、旧国際文化)

年度	2021(R3)年度入学試験試験						2022(R4)年度入学試験試験						年度	2023(R5)年度入学試験試験					
学科	試験内容	募集	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	試験内容	募集	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	学科	試験内容	募集	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
		定員						定員							定員				
英語 英文学科	総合型選抜	10	10	10	10	10	総合型選抜 I・II・III	15	6	6	6	6	(募集停止)						
	学校推薦型選抜	10	12	11	11	11	学校推薦型選抜	15	6	6	6	6							
	特別選抜 (社・帰・留)	若干名	0	0	0	0	特別選抜 (社・帰・留)	若干名	1	1	0	0							
	一般(独自)	15	25	23	23	8	一般選抜 I (個別試験)	10	20	19	15	8							
	一般 (共通テスト) (3月入試)	15	36	36	32	8	一般選抜 II・III (共通テスト 利用)	10	33	33	30	6							
	計	50	83	80	76	37	計	50	66	65	57	26							
国際 文化学科	総合型選抜	若干名	4	4	3	3	総合型選抜 I	若干名	11	11	11	11	国際 コミュ ニケ ーシ ョ ン 学科	総合型選抜 I	25	15	15	15	15
	学校推薦型選抜	30	19	19	19	19	学校推薦型選抜	30	17	17	17	17		学校推薦型選抜 (一般)	30	17	17	17	17
														学校推薦型選抜 (指定校)		10	10	10	10
	特別選抜 (社・帰・留)	若干名	0	0	0	0	特別選抜 (社・帰・留)	若干名	0	0	0	0		特別選抜 (社・帰・留)	若干名	0	0	0	0
	一般(独自)	20	29	28	28	17	一般選抜 I (個別試験)	25	25	24	23	11		一般選抜 I (個別試験)	25	32	30	30	16
	一般 (共通テスト) (3月入試)	10	37	37	31	4	一般選抜 II・III (共通テスト 利用)	5	25	25	25	5		一般選抜 II・III (共通テスト 利用)	10	38	38	35	6
	計	60	89	88	81	43	計	60	78	77	76	44		計	90	112	110	107	64



入学試験実施状況【健康栄養】【デザイン環境】

年度	2021(R3)年度入学試験試験						2022(R4)年度入学試験試験						年度	2023(R5)年度入学試験試験						
学科	試験内容	募集定員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	試験内容	募集定員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	学科	試験内容	募集定員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
食物栄養学科	総合型選抜	若干名	17	17	15	15	総合型選抜 I・II	20	29	28	28	28	健康栄養学科	総合型選抜 I・II	20	13	13	13	13	
	学校推薦型選抜	30	13	13	13	13	学校推薦型選抜	20	11	11	11	11		学校推薦型選抜(一般)	20	8	8	8	8	
														学校推薦型選抜(指定校)		4	4	4	4	
	特別選抜(社・帰・留)	若干名	1	1	1	1	特別選抜(社・帰・留)	若干名	2	2	2	2		2	特別選抜(社・帰・留)	若干名	2	2	1	1
	一般(独自)	25	26	23	23	9	一般選抜 I(個別試験)	15	24	22	21	13		13	一般選抜 I(個別試験)	10	25	25	25	15
	一般(共通テスト)(3月入試)	5	17	17	17	2	一般選抜 II・III(共通テスト利用)	5	26	26	25	4		4	一般選抜 II・III(共通テスト利用)	若干名	28	28	23	3
	計	60	74	71	69	40	計	60	92	89	87	58		58	計	50	80	80	74	44
生活デザイン学科	総合型選抜	10	15	15	13	13	総合型選抜 I・II	20	33	32	21	21	デザイン環境学科	総合型選抜 I・II	20	19	19	19	19	
	学校推薦型選抜	20	17	17	17	17	学校推薦型選抜	20	27	27	24	24		学校推薦型選抜(一般・専門)	20	12	12	12	12	
														学校推薦型選抜(指定校)		8	8	8	8	
	特別選抜(社・帰・留)	若干名	0	0	0	0	特別選抜(社・帰・留)	若干名	0	0	0	0		0	特別選抜(社・帰・留)	若干名	0	0	0	0
	一般(独自)	20	19	18	18	11	一般選抜 I(個別試験)	15	35	34	28	19		19	一般選抜 I(個別試験)	15	17	15	15	12
	一般(共通テスト)(3月入試)	10	31	31	31	4	一般選抜 II・III(共通テスト利用)	5	35	35	26	4		4	一般選抜 II・III(共通テスト利用)	5	24	24	22	8
	計	60	82	81	79	45	計	60	130	128	99	68		68	計	60	80	78	76	59



入学試験実施状況【全体】

年度	2021(R3)年度入学試験試験						2022(R4)年度入学試験試験						年度	2023(R5)年度入学試験試験					
学科	試験内容	募集	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	試験内容	募集	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	学科	試験内容	募集	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
		定員						定員							定員				
合計	総合型選抜	20	46	46	41	41	総合型選抜 I・II	55	79	77	66	66	合計	総合型選抜 I	60	47	47	47	47
	学校推薦型選抜	90	61	60	60	60	学校推薦型選抜	85	61	61	58	58		学校推薦型選抜 (一般・専門)	70	37	37	37	37
														学校推薦型選抜 (指定校)		22	22	22	22
	特別選抜 (社・帰・留)	若干名	1	1	1	1	特別選抜 (社・帰・留)	若干名	3	3	2	2		特別選抜 (社・帰・留)	若干名	2	2	1	1
	一般(独自)	80	99	92	92	45	一般選抜 I (個別試験)	65	104	99	87	51		一般選抜 I (個別試験)	50	74	70	70	43
	一般 (共通テスト) (3月入試)	40	121	121	111	18	一般選抜 II・III (共通テスト利用)	25	119	119	106	19		一般選抜 II・III (共通テスト利用)	20	90	90	80	17
	計	230	328	320	305	165	計	230	366	359	319	196		計	200	272	268	257	167



入学者① 【新入生の出身地】

概ね、県内5割。内、市内2割。県外の2割は愛知県。

上段：人数

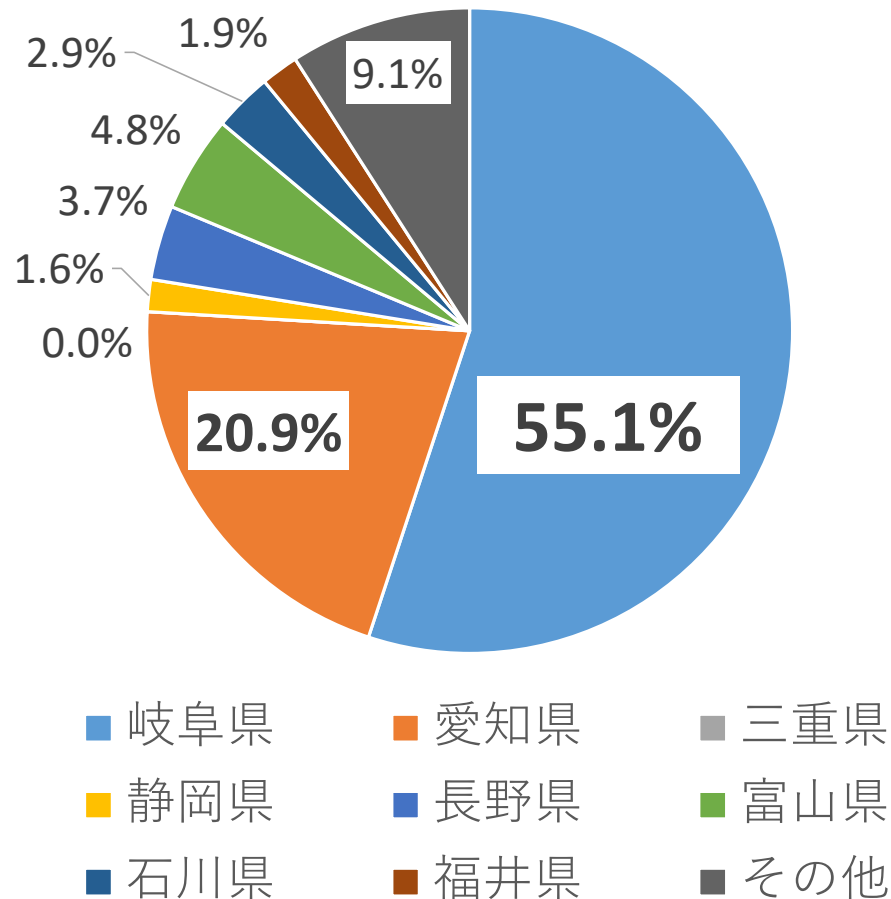
下段：比率

年度		2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)
入学者出身地	岐阜市内	50人	45人	37人	43人	25人	29人	40人
		19.1%	17.2%	15.1%	19.1%	15.2%	14.8%	24.0%
	岐阜県 (岐阜市内除く)	98人	93人	82人	71人	53人	78人	56人
		37.4%	35.6%	33.3%	31.6%	32.1%	39.8%	33.5%
	愛知県	54人	61人	66人	58人	39人	44人	29人
		20.6%	23.4%	26.8%	25.8%	23.6%	22.4%	17.4%
	その他	60人	62人	61人	53人	48人	45人	42人
		22.9%	23.8%	24.8%	23.5%	29.1%	23.0%	25.1%
合 計		262人	261人	246人	225人	165人	196人	167人

入学者② 【在学生の出身地】

概ね、中部地方で9割。

学生の出身地別割合 (R5)



県名	人数 (R5)	比率	
岐阜県	206	55.1%	
(内、岐阜市)	71	19.0%	
中部地方	愛知県	78	20.9%
	三重県	0	0.0%
	静岡県	6	1.6%
	長野県	14	3.7%
	富山県	18	4.8%
	石川県	11	2.9%
	福井県	7	1.9%
その他	34	9.1%	
県内	206	55.1%	
県外	168	44.9%	
合計	374	100.0%	



入学者③ 【修学支援新制度利用者】

R4(2022)の利用割合は19%

入学料	市内生	169,200 円
	市外生	302,100 円
授業料	年額	390,000 円

区分	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
学生数	491	398	368
入学料	40	29	45
利用割合	8.1%	7.3%	12.2%
授業料	67	65	71
利用割合	13.6%	16.3%	19.3%



就職① 【就職希望者内定率】

概ね、就職希望者7~8割。R4(2022)内定率98%

区分	就職希望者					就職内定者					内定率(%)				
	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
英語 英文	41	40	30	33	18	41	40	29	32	18	100	100	96.7	97.0	100
国際 文化	59	61	50	47	26	57	60	49	45	25	96.6	98.4	98.0	95.7	96.2
食物 栄養	47	52	54	42	36	47	51	50	42	35	100	98.1	92.6	100	97.2
生活 デザイン	54	47	49	45	34	54	42	48	45	34	100	89.4	98.0	100	100
計	201 人	200 人	183 人	167 人	114 人	199 人	193 人	176 人	164 人	112 人	99.0 %	96.5 %	96.2 %	98.2 %	98.2 %



就職② 【地域別 表】

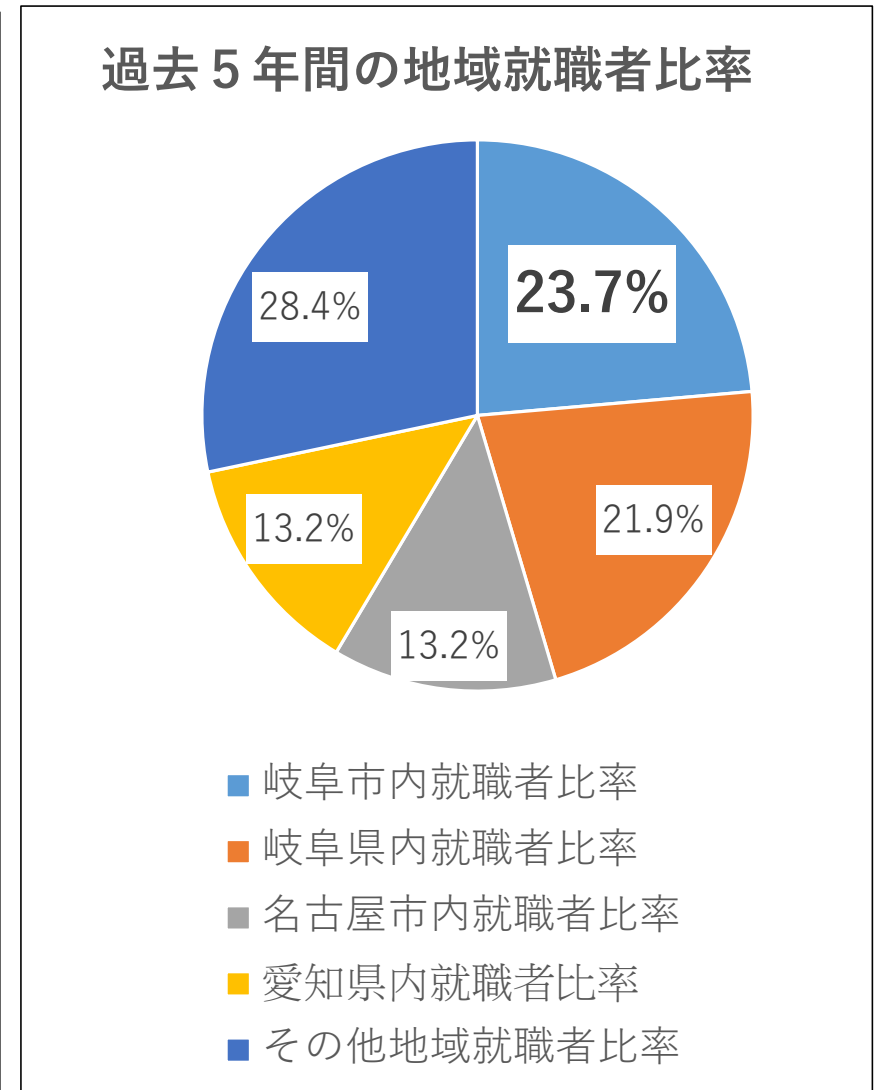
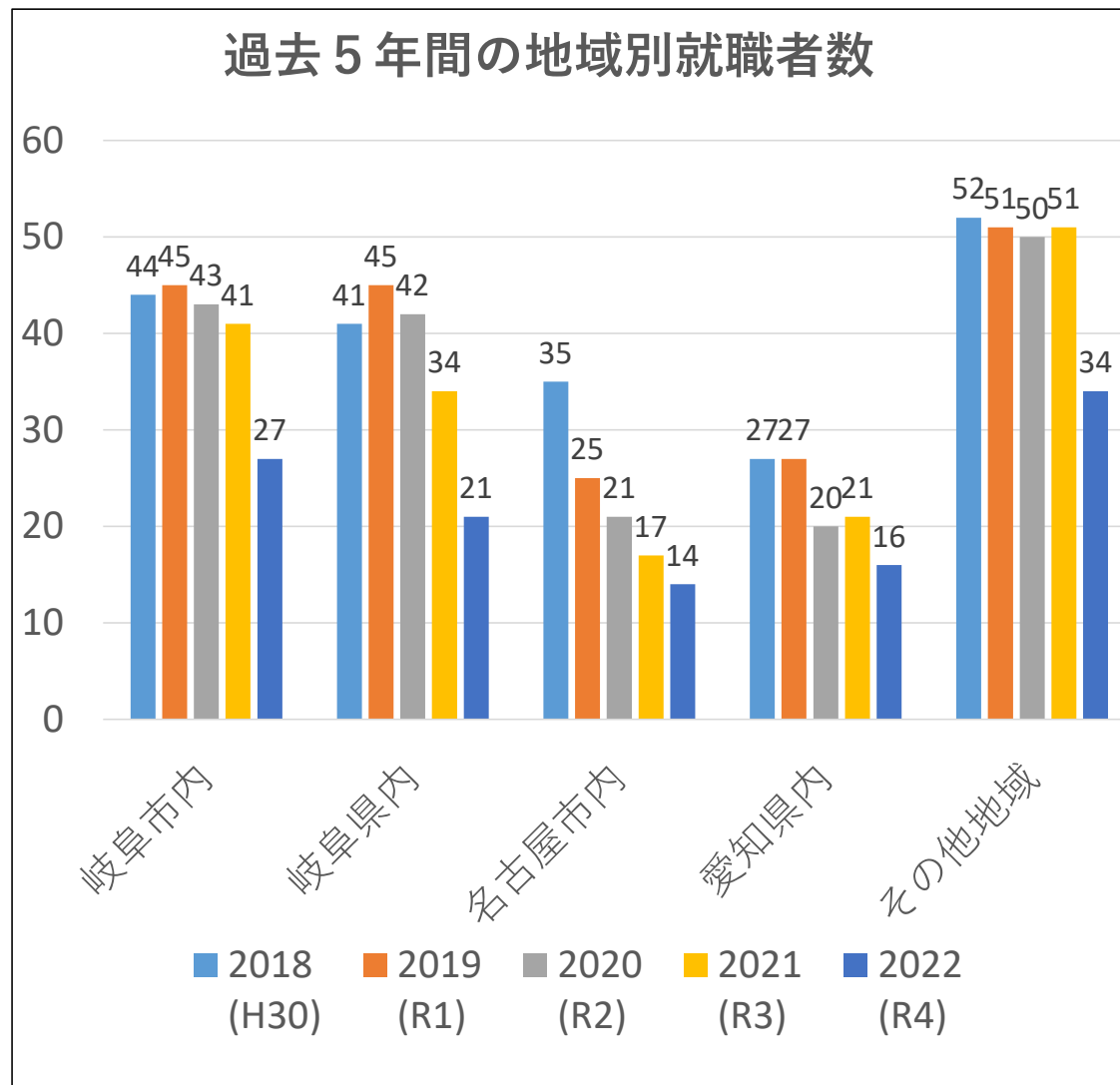
R4(2022)の市内就職率24%

(単位:人)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	5年間の 平均	
卒業生数	248	249	251	218	149	223	
就職希望者数(A)	201	200	183	167	114	173	
就職希望者・比率	81.0%	80.3%	72.9%	76.6%	76.5%	77.6%	
就職者数(B)	199	193	176	164	112	169	
就職率(B/A)	99.0%	96.5%	96.2%	98.2%	98.2%	97.6%	
内 容	岐阜市内	44	45	43	41	27	40
	就職者数・比率	22.1%	23.3%	24.4%	25.0%	24.1%	23.7%
	岐阜県内	41	45	42	34	21	37
	就職者数・比率	20.6%	23.3%	23.9%	20.7%	18.8%	21.7%
	名古屋市内	35	25	21	17	14	22
	就職者数・比率	17.6%	13.0%	11.9%	10.4%	12.5%	13.2%
	愛知県内	27	27	20	21	16	22
	就職者数・比率	13.6%	14.0%	11.4%	12.8%	14.3%	13.2%
	その他地域	52	51	50	51	34	48
就職者数・比率	26.1%	26.4%	28.4%	31.1%	30.3%	28.2%	

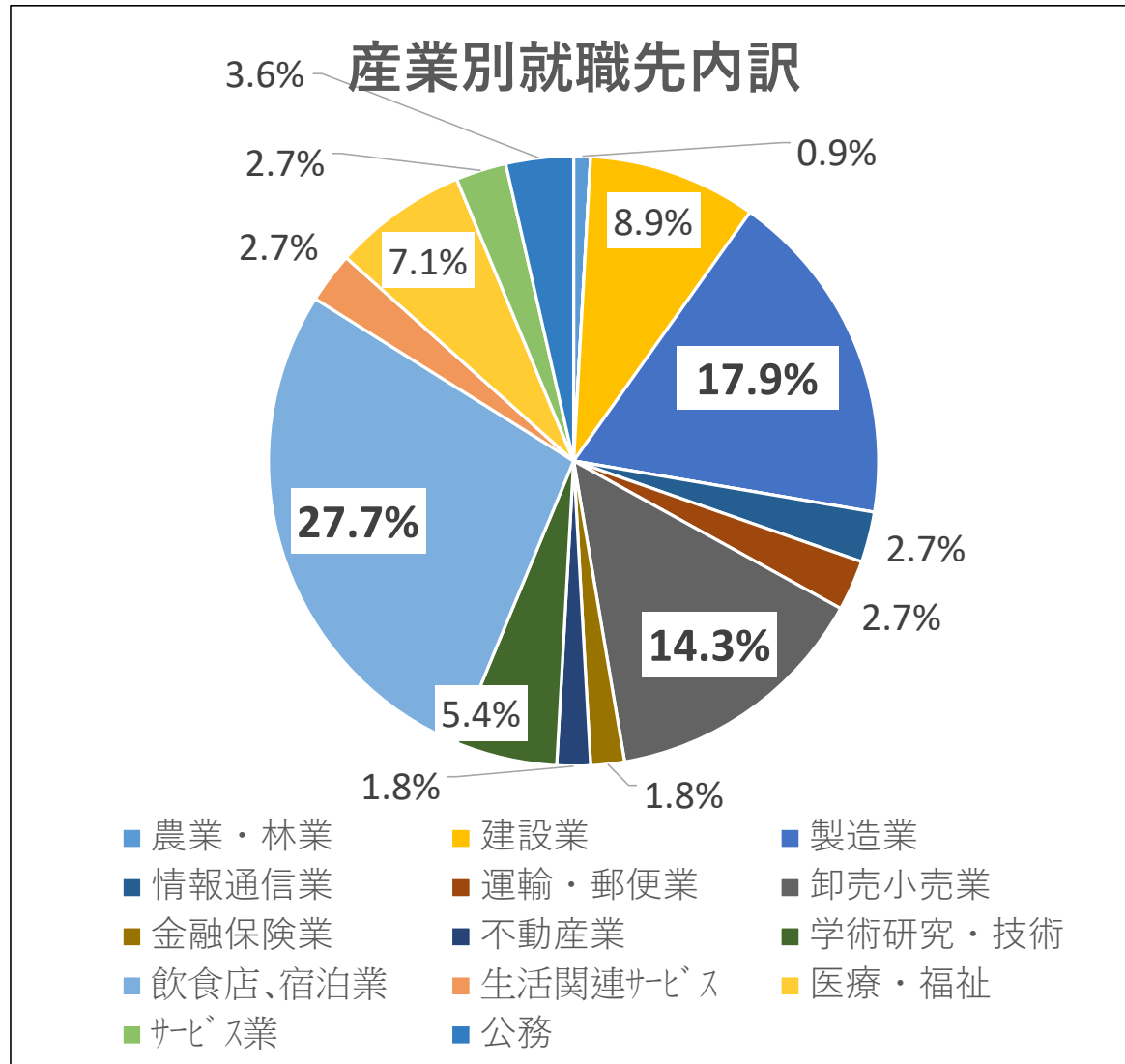
就職② 【地域別 グラフ】

R4(2022)は卒業生減により少ないが、市内就職率は維持。



就職③ 【産業分類】

飲食・宿泊業、製造業、卸売小売業が多い。



区分	人数 (R4)	比率
農業・林業	1	0.9%
漁業	0	0.0%
鉱業	0	0.0%
建設業	10	8.9%
製造業	20	17.9%
電気ガス業	0	0.0%
情報通信業	3	2.7%
運輸・郵便業	3	2.7%
卸売小売業	16	14.3%
金融保険業	2	1.8%
不動産業	2	1.8%
学術研究・技術	6	5.4%
飲食店、宿泊業	31	27.7%
生活関連サービス	3	2.7%
教育、学習支援	0	0.0%
医療・福祉	8	7.1%
複合サービス業	0	0.0%
サービス業	3	2.7%
公務	4	3.6%
計	112	100.0%



進学等 【編入・進学・留学】

概ね、進学希望者は2割。R4(2022)は27人が進学。

上段：人数
下段：比率

区分	大学編入・進学			専門学校進学			留学・その他			合計		
	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
英語 英文	9	15	14	1	3	1	0	0	1	10	18	16
国際 文化	14	6	4	1	1	1	0	0	1	15	7	6
食物 栄養	3	6	1	0	2	0	0	0	0	3	8	1
生活 デザイン	4	4	2	5	1	2	0	0	0	9	5	4
計	30	31	21	7	7	4	0	0	2	37	38	27
卒業生数 との比率	12.0%	14.2%	14.1%	2.8%	3.2%	2.7%	-%	-%	1.3%	14.7%	17.4%	18.1%

※卒業生数：2020年度 251名 2021年度 218名 2022年度 149名



進路【主な進路先】

主な就職先（2022年度実績）

●旧 英語英文学科，旧 国際文化学科（国際コミュニケーション学科）

MTK、岐阜県庁、岐阜日産自動車、濃飛倉庫運輸、ゲンキー、たんぽぽ薬局、高山グリーンホテル、近鉄・都ホテルズ、パナソニックエレクトリックワークス など

●旧 食物栄養学科（健康栄養学科）

アピ、魚国総本社、LEOC、メフォス東日本、日清医療食品、シダックス、日本ゼネラルフード、カネ美食品、デリカスイト、九重化成、学校法人藤田学園、JA岐阜 など

●旧 生活デザイン学科（デザイン環境学科）

岐阜市役所、オーツカ、I Treat、イトーファッション、宇佐美組、オンワード樫山、加藤木材工業、ぎふ建築住宅センター、イージェーワークス、バローホールディングス など

主な進学先（2022年度実績）

◆国公立大学

岐阜大学、三重大学、都留文科大学、山梨県立大学、奈良女子大学、埼玉大学 など

◆私立大学

南山大学、椋山女学園大学、京都外国語大学、関西外国語大学、京都女子大学 など

◆専門学校

中日美容専門学校、名古屋モード学園、名古屋ビジュアルアーツ など

◆留学

韓国外国語大学、Madison Area Technical College



財務 【教員の年齢構成】

女性比率50%。R5(2023)定数1名減。

R5年度 単位：人 %

職位	60歳～		50歳～		40歳～		30歳～		20歳～		計(女性)		女性
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	%
教授	6	67%	3	33%	0	-%	0	-%	0	-%	9	(4)	44%
准教授	1	10%	3	30%	6	60%	0	-%	0	-%	10	(4)	40%
講師	0	-%	1	10%	7	70%	2	20%	0	-%	10	(4)	40%
助教	0	-%	0	-%	1	-%	0	-%	0	-%	1	(1)	100%
助手	0	-%	1	-%	3	-%	0	-%	0	-%	4	(4)	100%
計	7	20%	8	24%	17	50%	2	6%	0	-%	34	(17)	50%



財務【一般会計決算】

R3(2021)決算の一般財源割合68%

金額：千円

年度		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
支出	人件費	447,377	445,663	439,016	465,835	457,996
	物件費	128,204	153,998	149,137	175,288	135,884
	補助費等 ※研究交付金、加入団体負担金	15,017	10,988	9,137	19,387	16,696
	普通建設 ※工事請負費	16,054	29,686	19,771	15,146	17,474
	計	606,652	640,335	617,061	675,656	628,050
収入	使用料及び手数料	298,715	284,732	266,728	216,707	190,726
	国庫交付金	0	0	0	28,452	0
	物品売払収入	0	0	0	14	0
	寄附金	7,016	2,480	0	1,780	8,079
	諸収入	5,586	6,313	6,125	6,549	4,930
	一般財源 (一般財源が占める割合)	295,335 48.7%	346,810 54.2%	344,208 55.8%	422,154 62.5%	424,315 67.6%